

次の **I** の問題は新課程の歴史総合の問題です。「日本史(新)」の受験者が解答してください。(解答番号は **1** ～ **18**)

I 下のA～Gは江戸時代から明治時代初めにおける、日本と諸外国との間でおきた出来事に関する記述である。それぞれに該当する国を()内の数だけ、次の解答群から選べ。B, C, D, Fは、すべて正解のときにのみ点が与えられる。
(28点)

<解答群>

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ① アメリカ | ② イギリス | ③ オランダ |
| ④ 中国 | ⑤ 朝鮮 | ⑥ ドイツ |
| ⑦ フランス | ⑧ 琉球 | ⑨ ロシア |

A 1792年、日本に使節を送り、通商を要求した国(1か国) **1**

B 1825年の異国船打払い令で、打払いの対象から除外(長崎だけでの除外も含む)された国(4か国) **2**, **3**, **4**, **5**

C 1854年の日米和親条約の直後、幕府が同様の条約を結んだ国(3か国) **6**, **7**, **8**

D 1858年の日米修好通商条約の直後、幕府が同様の条約を結んだ国(4か国) **9**, **10**, **11**, **12**

E 1863年，生麦事件への報復として薩摩藩を攻撃した国(1か国) 13

F 1864年，連合艦隊を編成して下関砲台を攻撃した国(4か国)
14，15，16，17

G 1871年，明治新政府が対等な関係の条約を結んだ国(1か国) 18

次の **Ⅱ** の問題は旧課程の日本史の問題です。「日本史(旧)」の受験者が解答してください。(解答番号は **19** ～ **25**)

Ⅱ 摂関政治に関する次の問い(問1～問7)に答えよ。(28点)

問1 摂政は天皇が幼少の期間にその政務を代行し、関白は天皇の成人後に、その後見役として政治を補佐する地位である。摂関政治の確立に先立つ9世紀に、臣下として初めて摂政となった人物(A)と、関白となった人物(B)を、次の①～⑥のうちから選べ。 **19**

- ① (A) = 藤原冬嗣 (B) = 藤原基経
- ② (A) = 藤原冬嗣 (B) = 藤原良房
- ③ (A) = 藤原基経 (B) = 藤原冬嗣
- ④ (A) = 藤原基経 (B) = 藤原良房
- ⑤ (A) = 藤原良房 (B) = 藤原冬嗣
- ⑥ (A) = 藤原良房 (B) = 藤原基経

問2 摂政・関白を出す家柄を摂関家という。摂政・関白は、藤原氏のなかで最高のある地位を兼ね、人事の全体を掌握し、絶大な権力を握った。その地位を次の①～④のうちから選べ。 **20**

- ① 氏の長者 ② 家父長 ③ 棟梁 ④ 別当

問3 藤原道長は10世紀末から11世紀初めにかけて娘を中宮や皇太子妃とし、朝廷で権勢をふるった。このことを可能にした当時の貴族社会の特質についての説明として、適切でないものを、次の①～④のうちから選べ。 21

- ① 夫は妻の父の庇護を受け、また子は母方の手で養育されるなど、母方の縁が非常に重く考えられていた。
- ② 結婚した男女は妻側の両親と同居するか、新居を構えて住むのが一般的であった。
- ③ 摂政・関白は、天皇のもっとも身近な外戚として、伝統的な天皇の高い権威を利用し、大きな権力を握った。
- ④ 一部の貴族は、天皇家の家司となり、国司(受領)になることを求めた。

問4 摂関政治の運営は、天皇が太政官を通じて中央・地方の官吏を指揮し、全国を統一的に支配する形をとった。おもな政務は太政官で公卿によって審議され、多くの場合は天皇(もしくは摂政)の決裁を経て太政官符・宣旨などの文書で政策が命令・伝達された。そして、外交や財政など、国政に関わる重要な問題については、公卿各自の意見が求められ、天皇の決裁の参考にされる会議が行われた。この会議を、次の①～④のうちから選べ。 22

- ① 御前会議 ② 職員会議 ③ 陣定 ④ 評定

問5 国司が任国に赴かない場合、国衙に設置される中心機関(A)と、国司に代わって現地に赴任し、政務を代行する者(B)を、次の①～④のうちから選べ。

23

- ① (A) 田所 - (B) 受領 ② (A) 田所 - (B) 目代
- ③ (A) 留守所 - (B) 受領 ④ (A) 留守所 - (B) 目代

問6 摂関家の内部では、摂政・関白の地位をめぐる争いが続いた。摂関の地位をめぐる激しい争いをした人物の組み合わせを、次の①～④のうちから選べ。

24

- ① 藤原兼家 - 藤原道長 ② 藤原伊周 - 藤原兼家
③ 藤原道長 - 藤原伊周 ④ 藤原道長 - 藤原頼通

問7 藤原道長の外孫となった3人の天皇の組み合わせを、次の①～④のうちから選べ。

25

- ① 一条 - 朱雀 - 冷泉
② 醍醐 - 村上 - 陽成
③ 後一条 - 後朱雀 - 後冷泉
④ 後醍醐 - 後村上 - 後陽成

次の **Ⅲ** ～ **V** の問題は「日本史(新)」および「日本史(旧)」の受験者に共通の問題です。いずれの受験者も解答してください。(解答番号は **26** ～ **43**)

Ⅲ 奈良時代の仏教について説明した次の文章を読んで、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

奈良時代には、国家の保護を受けて仏教が発展した。奈良の大寺院では、インドや中国で生まれた様々な仏教理論の研究が進められ、**A** などの南都六宗⁽²⁾と呼ばれる学派が形成された。

当時の僧侶は宗教者であるばかりでなく、最新の文化を身につけた一流の知識人でもあったから、**B** のように聖武天皇に信任されて政界で活躍した僧もいた。740年、唐への留学経験がある**B**、および同じく唐から帰国した**C**らの排除を求める大規模な反乱が**D**で起こった。

こうした政治情勢や疫病などによる社会不安のもと、聖武天皇は鎮護国家の思想によって国家の安定をはかろうとし、国分寺建立や大仏造立などの大事業を進めた。⁽³⁾

問1 下線部(1)の仏教について述べた文として正しくないものを、次の①～④のうちから1つ選べ。 **26**

- ① 推古天皇の時代に定められた憲法十七条では、政治理念として仏教が重んじられた。
- ② 飛鳥文化とは、6世紀前半に蘇我氏や王族により広められた仏教中心の文化である。
- ③ 遣隋使に同行した学問僧は、留学から戻って中国の仏教に関する知識を日本に伝えた。
- ④ 飛鳥文化を代表する仏像彫刻には、中国南北朝期の仏像様式の影響が認められる。

問2 A には下線部(2)の南都六宗に該当する4つの学派の名称が入る。その組み合わせを、次の①～④のうちから選べ。 27

- ① 華嚴 - 成実 - 天台 - 法相
- ② 成実 - 俱舎 - 律 - 華嚴
- ③ 俱舎 - 浄土 - 法相 - 三論
- ④ 三論 - 天台 - 浄土 - 律

問3 B と C に当てはまる人名を、次の①～④のうちから選べ。

28

- ① B = 鑑真 C = 橘諸兄 ② B = 玄昉 C = 吉備真備
- ③ B = 鑑真 C = 吉備真備 ④ B = 玄昉 C = 橘諸兄

問4 D に当てはまる語句を、次の①～④のうちから選べ。

29

- ① 平城京 ② 関東 ③ 東北 ④ 九州

問5 下線部(3)の国分寺建立や大仏造立などの大事業が始まる前におこった反乱を、次の①～④のうちから選べ。 30

- ① 恵美押勝の乱 ② 橘奈良麻呂の変
- ③ 藤原広嗣の乱 ④ 薬子の変

問6 下線部(3)の大仏造立について、743年に聖武天皇が大仏造立の詔を出した地名を、次の①～④のうちから選べ。 31

- ① 下野 ② 大和 ③ 近江 ④ 尾張

IV 鎌倉幕府に関する次の文を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

平氏打倒のため挙兵した源頼朝は、相模国鎌倉を根拠地として広く武士たちと主従関係を結んで [A] として組織し、東国の荘園・公領を支配して彼らの所領支配を保証していった。

1185年の平氏滅亡後、頼朝は [B] と対立するようになった。[B] が後白河法皇から頼朝追討の命令を受けて挙兵し失敗すると、頼朝は京都に軍勢を送り、[B] 追討を名目として守護・地頭を任命する権利、1段あたり5升の兵糧米を徴収する権利、諸国国衙を支配する在庁官人を支配する権利を得た。そして頼朝は1192年、⁽¹⁾ 征夷大將軍に任じられ、武家政権として鎌倉幕府を確立させた。

幕府の支配機構は簡素で実務的であった。幕府が置かれた鎌倉(中央)には [A] を組織し統制する [C]、一般政務や財政事務を司る [D]、裁判事務を司る [E] などが置かれ、京都から招いた下級貴族を中心とする側近が頼朝を支えた。

地方には守護と地頭が置かれた。守護は原則として各国に1人ずつ、おもに東国出身の有力 [A] が任命された。軍事指揮権者として⁽²⁾ 大犯三箇条の職権を保持し、行使した。特に東国では在庁官人を支配し、地方行政官としての役割も果たした。地頭は [A] から任命され、荘園・公領の平家没官領を中心とする謀反人の所領に置かれ、年貢徴収・納入と土地の管理、治安維持を任務とした。

鎌倉に幕府が開かれたものの、朝廷は国司を任命して全国の一般行政を統括し、公家・寺社は受領・荘園領主として土地からの収益を得ており、幕府に属さない武士も存在した。政治面でも経済面でも⁽³⁾ 公家と武家の二元的支配がこの時期の特徴であった。

問1 [A] に当てはまる語句を、次の①～⑤のうちから選べ。

32

- ① 足軽 ② 国人 ③ 御家人 ④ 使節 ⑤ 聖

問2 は平氏打倒に貢献のあった頼朝の弟である。頼朝からの追討を受けた をかくまったのち、頼朝の圧力に屈して を自殺に追い込み、頼朝による奥州攻めによって滅ぼされたのは誰か。次の①～④のうちから選べ。

33

- ① 藤原清衡 ② 藤原秀衡 ③ 藤原基衡 ④ 藤原泰衡

問3 下線部(1)の征夷大將軍に任命される2年前、上洛した源頼朝が任命され、特別な扱いをされた禁裏警護や儀式を任務とする役所の長官職を、次の①～⑥のうちから選べ。

34

- ① 右衛門大将 ② 右近衛大将 ③ 右兵衛大将
④ 左衛門大将 ⑤ 左近衛大将 ⑥ 左兵衛大将

問4 ～ に当てはまる鎌倉幕府の支配機構を、次の①～⑥のうちから選べ。

35

- ① C = 侍所 D = 政所 E = 問注所
② C = 侍所 D = 問注所 E = 政所
③ C = 政所 D = 侍所 E = 問注所
④ C = 政所 D = 問注所 E = 侍所
⑤ C = 問注所 D = 侍所 E = 政所
⑥ C = 問注所 D = 政所 E = 侍所

問5 下線部(2)の大犯三箇条の権限の組み合わせを、次の①～⑧のうちから選べ。

36

- ① 京都大番役の催促 - 国内裁判権の行使 - 徴税権の行使
- ② 京都大番役の催促 - 国内裁判権の行使 - 殺害人の逮捕
- ③ 京都大番役の催促 - 殺害人の逮捕 - 徴税権の行使
- ④ 京都大番役の催促 - 殺害人の逮捕 - 謀反人の逮捕
- ⑤ 京都大番役の催促 - 徴税権の行使 - 謀反人の逮捕
- ⑥ 国内裁判権の行使 - 徴税権の行使 - 殺害人の逮捕
- ⑦ 国内裁判権の行使 - 徴税権の行使 - 謀反人の逮捕
- ⑧ 徴税権の行使 - 殺害人の逮捕 - 謀反人の逮捕

問6 下線部(3)の公家と武家の二元的支配の特徴についての記述として正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

37

- ① 源頼朝自身、多くの知行国(関東知行国・関東御分国)や大量の荘園(関東御領)を所有し、幕府の経済的基盤となっていた。
- ② 幕府と朝廷との関係は、旧法と呼ばれる朝廷の法令や宣旨で定められた。
- ③ 幕府は守護・地頭を通じて全国の治安の維持にあたり、朝廷の支配や荘園・公領の維持を補助した。
- ④ 東国は幕府の実質的支配地域であったが、東国以外での支配の実権を握ろうとしたため、守護・地頭と国司・荘園領主の間で紛争が増え、対立が深まった。

V 江戸幕府の確立期の外国交易に関する次の史料A～Cを読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

- A 一 異国江日本の船遣すの儀、堅く停止の事。
 一 日本人異国江遣し申す間敷候。若忍び候て乗渡る者之有るに於ては、其者は死罪、其舟并船主共にとめ置、言上仕るべき事。

.....

- B 一 日本国御制禁成され候吉利支丹宗門の儀、其趣を存知ながら、彼の法を弘むるの者、今に密々差渡るの事。

.....

右茲に因り、自今以後、かれうた渡海の儀、之を停止せられ訖。

.....

- C 一 異国え奉書船の外、舟遣すの儀、堅く停止の事。

.....

- 一 異国舟につミ来り候白糸、直段を立候て、残らず五ヶ所へ割符仕るべき事。

問1 上の史料A～Cの出された年代順を、次の①～⑥のうちから選べ。 38

- | | |
|-------------|-------------|
| ① A → B → C | ② A → C → B |
| ③ B → A → C | ④ B → C → A |
| ⑤ C → A → B | ⑥ C → B → A |

問2 史料A～Cの内容について述べた次の文章で、波線部のうち誤りはいくつあるか。下の①～④のうちから選べ。

39

Aでは、日本人の外国への密航について述べており、密航者だけでなく、乗船した船の乗組員と、船の所有者はいずれも死罪であることがわかる。Bでは、法令が出された以後は、ポルトガル船の日本への来航が禁止されていることがわかる。Cでは、奉書船(老中発行の老中奉書により許可を受けた船)以外については、日本への来航を禁止していることがわかる。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ なし

問3 下線部(1)の幕府のキリスト教の禁教政策について説明した文として正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

40

- ① 信者の多い九州地方では、キリストやマリア像を彫った踏絵を踏ませて信者を摘発する絵踏を行った。
- ② キリスト教の布教を行うカトリック(旧教)のイギリス・スペイン・ポルトガルからの船の来航を禁じた。
- ③ すべての人をいずれかの寺院に檀家として所属させる寺請制度を設け、町や村ごとに宗門人別改帳を作成した。
- ④ ひそかにキリスト教を信仰する「隠れキリシタン」発見のため、ひとびとに密告を奨励した。

問4 下線部(2)の「五ヶ所」を、次の①～④のうちから選べ。

41

- ① 京都 長崎 堺 大坂 江戸
- ② 京都 博多 対馬 堺 大坂
- ③ 平戸 博多 対馬 長崎 江戸
- ④ 平戸 博多 長崎 大坂 江戸

問5 江戸時代の貿易における日本の主な輸入品として正しくないものを、次の①～⑥のうちから選べ。

42

- ① 生糸 ② 絹織物 ③ 銀 ④ 香木 ⑤ 砂糖 ⑥ 書籍

問6 日本のいわゆる鎖国について説明した文として適切なものを、次の①～④のうちから選べ。

43

- ① 鎖国という言葉が用いられるようになったのは、19世紀以降のことである。
- ② 日本は、中国とは正式な国交を開かず、民間商船の長崎への来航も禁止した。
- ③ 朝鮮から幕府へは、朝鮮国王の代わりにあたっては謝恩使、日本の將軍の代わりにあたっては慶賀使と呼ばれる祝いの使節が派遣された。
- ④ 長崎の出島へ赴任した後、歴代のオランダ商館長はいずれも、出島から外へ出ることは認められず、通詞(=通訳)以外の日本人との交流はなかった。